

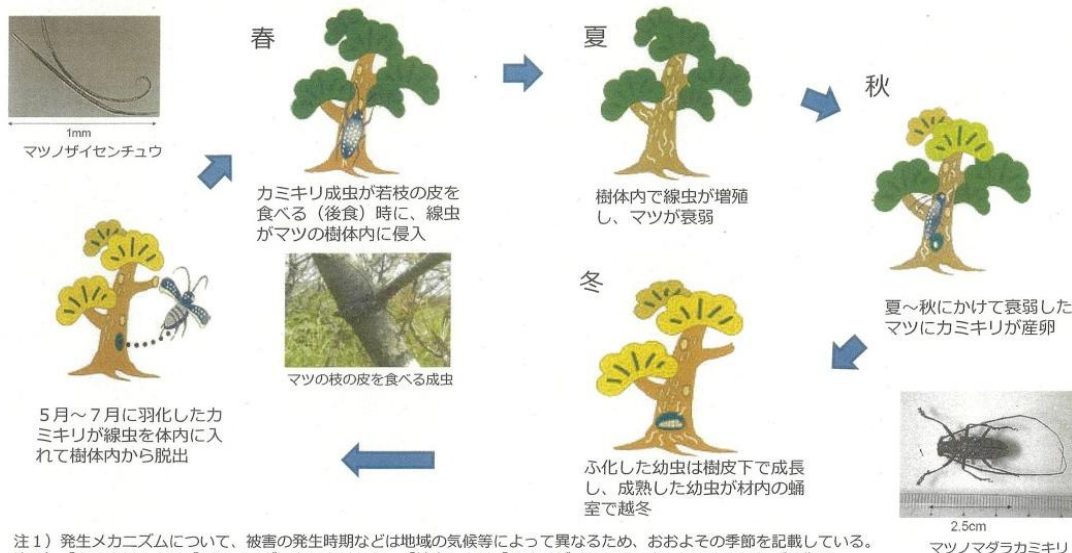
松くい虫被害対策（樹種転換事業）の概要 塩尻市片丘

現地視察資料

補助事業名	信州の森林づくり事業 保全松林緊急保護整備事業・みんなで支える里山整備事業（防災・減災）																																														
施行箇所	塩尻市片丘																																														
概要	松本地域では、平成12年度に安曇野市、麻績村で松くい虫被害が確認された後、北部から南部へ拡大し、令和7年度には管内全域が被害市村となった。 塩尻市片丘は、本地域東部の山麓を松本市から南下している松くい虫被害の先端地域となっていることから、この被害が諏訪方面や高標高地域への拡大防止を図るため、アカマツからカラマツや広葉樹などへ樹種転換を進めている。																																														
施行内容	（単位：ha,千円） <table> <tr> <th>年度</th><th>事業名</th><th>施行内容</th><th>面積</th><th>事業費</th><th>補助金額</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>令和6年度</td><td>保全松林</td><td>人工造林、下刈り、鳥獣害対策</td><td>10.24</td><td>97,137</td><td>67,996</td><td></td></tr> <tr> <td>令和7年度</td><td>保全松林</td><td>人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道</td><td>16.93</td><td>93,692</td><td>65,584</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">令和8年度</td><td>保全松林</td><td>人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道</td><td>8.61</td><td>61,813</td><td>43,269</td><td></td></tr> <tr> <td>みんなで支える里山整備</td><td>更新伐、森林作業道</td><td>1.84</td><td>4,165</td><td>3,749</td><td>森林税</td></tr> <tr> <td>計</td><td></td><td></td><td>37.62</td><td>256,807</td><td>180,598</td><td></td></tr> </table>						年度	事業名	施行内容	面積	事業費	補助金額	備考	令和6年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策	10.24	97,137	67,996		令和7年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道	16.93	93,692	65,584		令和8年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道	8.61	61,813	43,269		みんなで支える里山整備	更新伐、森林作業道	1.84	4,165	3,749	森林税	計			37.62	256,807	180,598	
年度	事業名	施行内容	面積	事業費	補助金額	備考																																									
令和6年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策	10.24	97,137	67,996																																										
令和7年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道	16.93	93,692	65,584																																										
令和8年度	保全松林	人工造林、下刈り、鳥獣害対策、森林作業道	8.61	61,813	43,269																																										
	みんなで支える里山整備	更新伐、森林作業道	1.84	4,165	3,749	森林税																																									
計			37.62	256,807	180,598																																										
今後の取組	引続き、先端地域を重点とし樹種転換や伐倒駆除を組合せて、松くい虫被害の拡大防止を図るとともに、アカマツ林の主伐・再造林を進めてアカマツ材の有効活用を図る。																																														

松くい虫被害の発生メカニズム

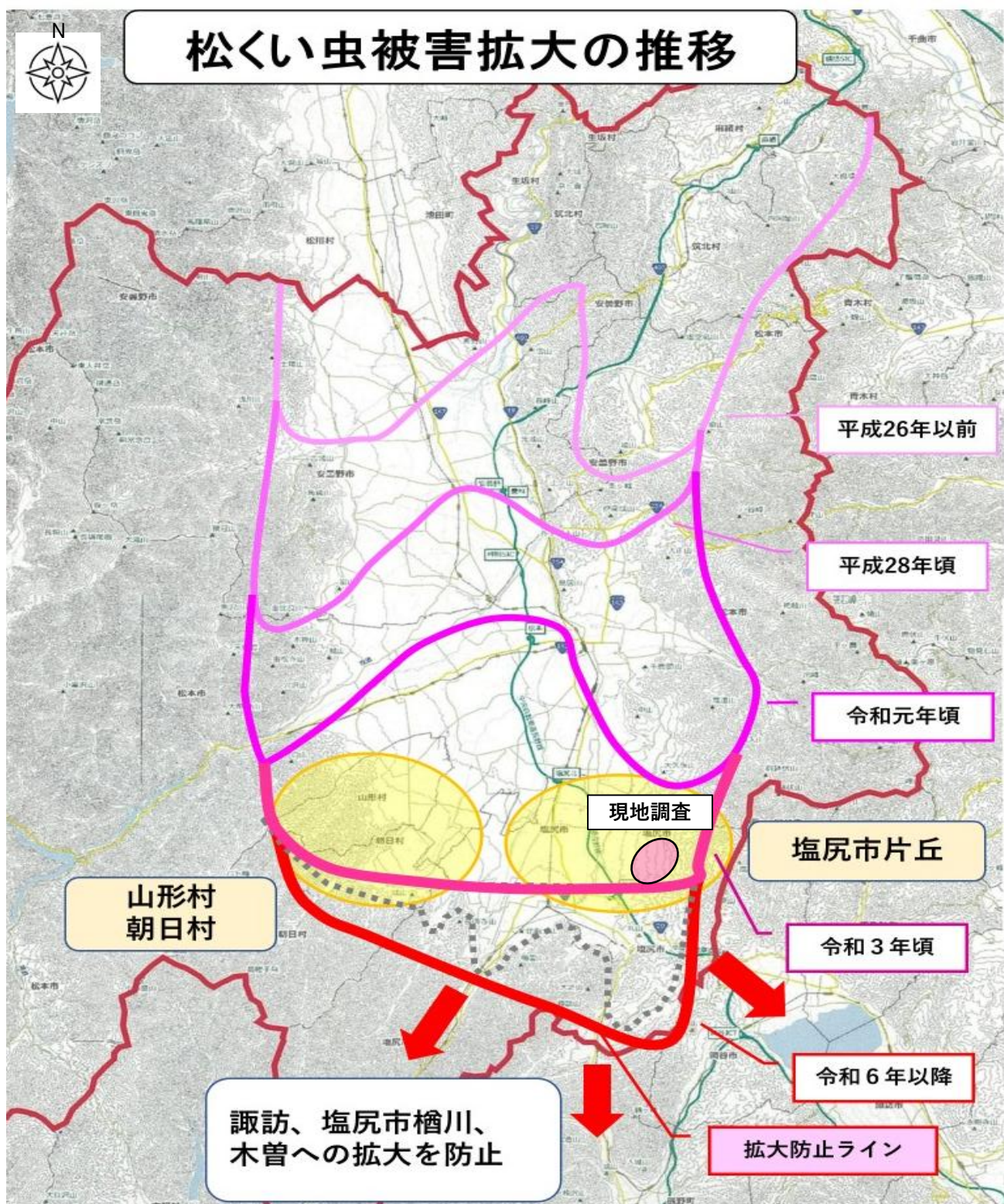
- マツノザイセンチュウ(線虫)がマツの樹体内で活動することにより、通水阻害を起こしてマツが衰弱・枯死。
- 衰弱・枯死したマツにマツノマダラカミキリ(カミキリ)が産卵。羽化した新成虫が線虫を体内に入れて別の健全なマツに移動し、その若枝を食べる際に線虫が樹体内に侵入することで、周囲に被害が拡大。



注1) 発生メカニズムについて、被害の発生時期などは地域の気候等によって異なるため、おおよその季節を記載している。
注2) 「カミキリ」とは「マツノマダラカミキリ」を、「線虫」とは「マツノザイセンチュウ」のことをそれぞれ指す。



松くい虫被害拡大の推移



1 現状と今後の方針

- ・ H27より被害が本格化し始め、近年は、**前年の1.5倍以上のペースで被害が拡大**しており、R6年度は過去最高1,899本の被害が確認されている。R7年度からは新たな防除対策基本方針を設定し、優先箇所等を設定し対応しているため、被害覚知本数は減少しているが、実際の被害は高止まりしている。（R7年度覚知本数：1,582本）。
- ・ 被害が拡大傾向にあるなか、予算規模を考慮した防除対策が必要である。現在の状況等を鑑み、**限られた労力資源を有効に活用しながら、市民生活の安全確保を優先し、効率的かつ効果的な対策を目指した新たな防除方針R7年度より実施する。**

2 新たな防除対策基本方針（塩尻市松くい虫防除対策基本方針概要）

①優先箇所を設定した伐倒処理

●市民の安全、生活に影響のある場所の枯損木処理対策を最優先

【長者原公園、広丘小学校・北部公園、丘中学校～九里巾交差点東側、松本歯科大学近隣、西部中学校近隣等】

●隣接する未被害地（楢川地区・諏訪地域・辰野町）への被害侵入防止

未被害地への侵入防止のため、**最先端地**での被害木の早期発見、早期処理を実施し、**守るべき松林エリアへの侵入防止を徹底**

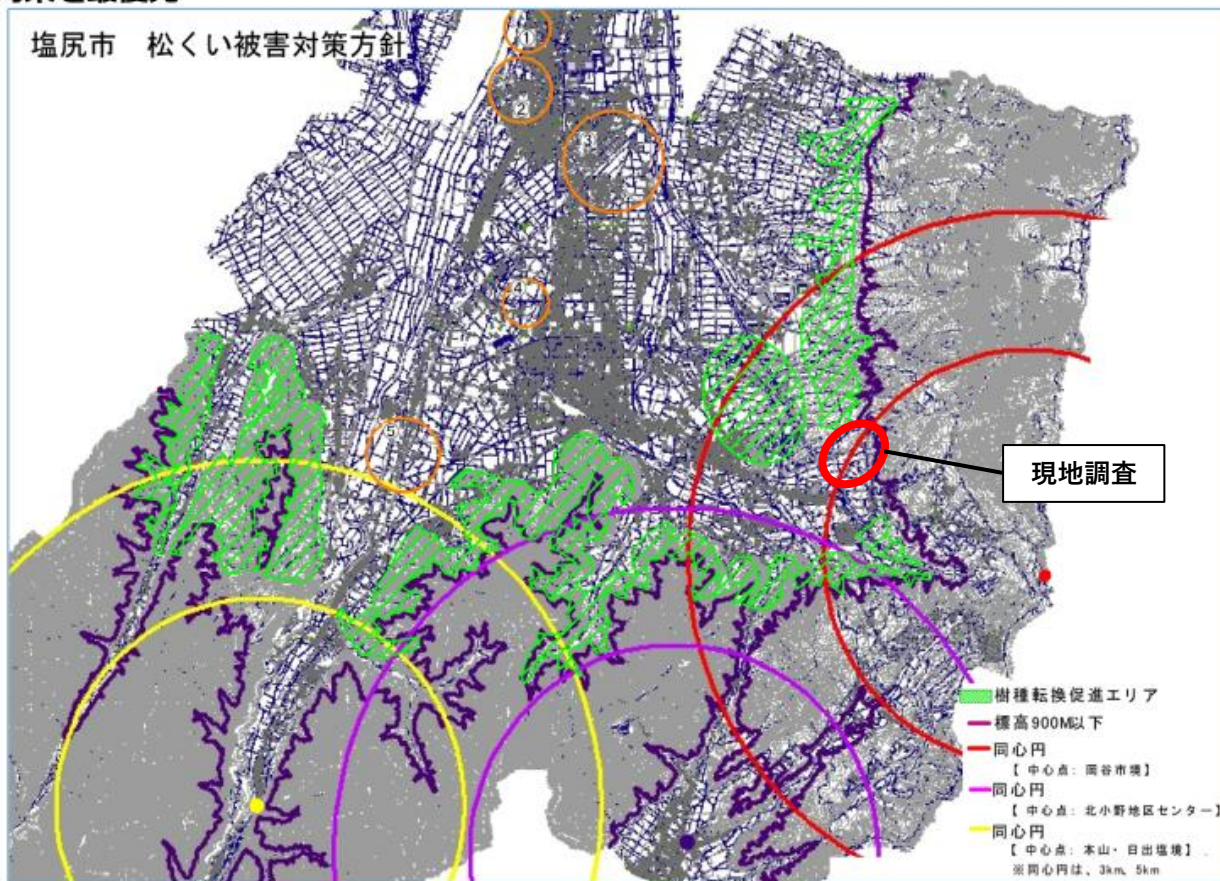
②樹種転換促進エリアを拡大し

林業事業体への施業斡旋

被害の拡大に伴い樹種転換促進エリアを、これまで**未被害であった地域へも拡大**（宗賀、洗馬地区のエリア拡大：市内約755haの赤松林が対象）

事業体による**樹種転換事業への補助金支援**（市森林造成事業補助金：継続事業）

塩尻市 松くい被害対策方針



松くい虫被害対策（樹種転換事業） 位置図

塩尻市

松くい虫被害

（北から南へ山麓沿いに被害拡大）



標高900m

R6

塩尻市

R7

樹種転換

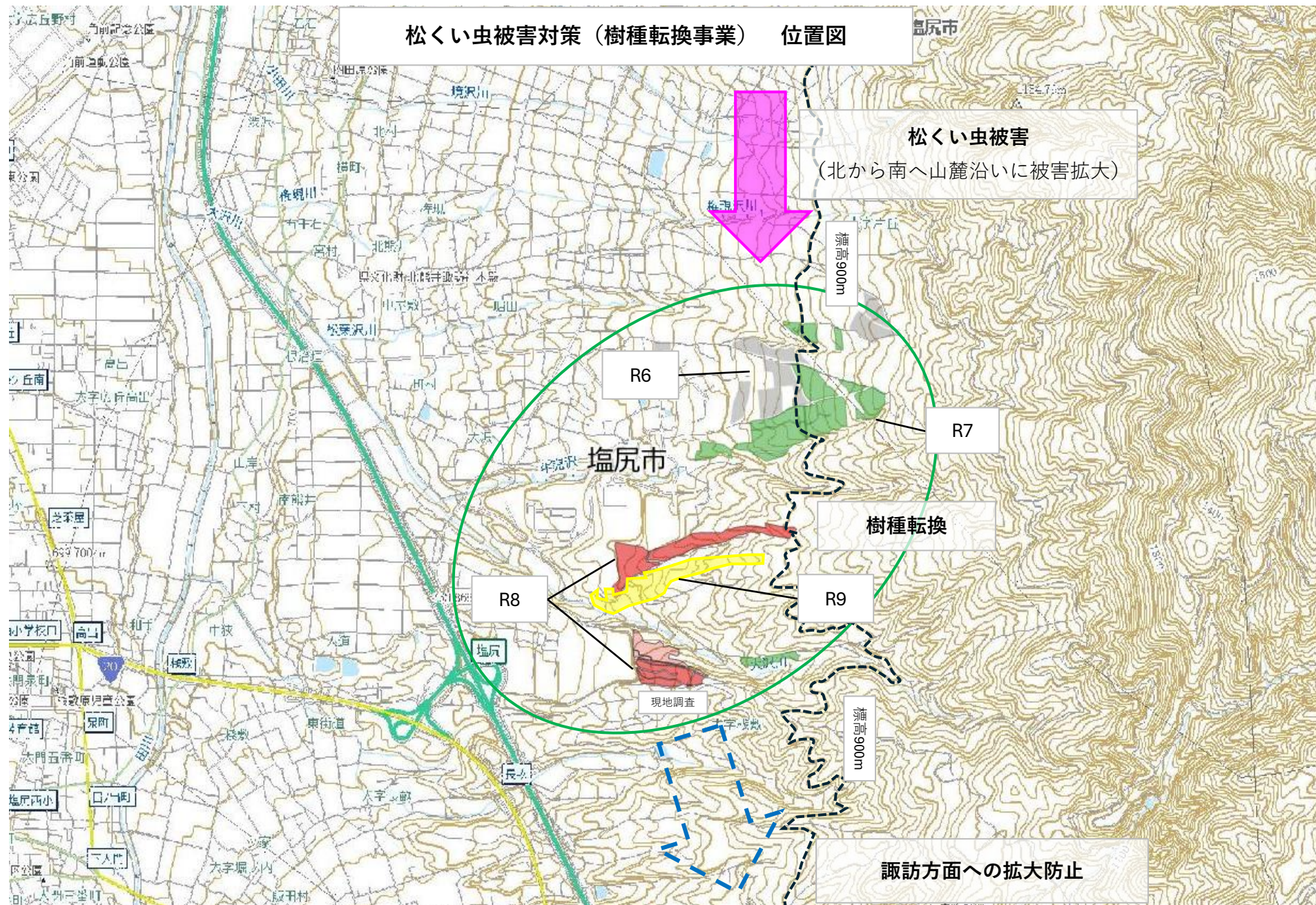
R8

R9

現地調査

標高900m

諏訪方面への拡大防止



松くい虫被害対策(樹種転換事業)の事例 ～塩尻市片丘弓張団地～

